

はじめに

本報告書は、平成 16 年度に財団法人環日本海環境協力センターが、環境省からの委託を受けた「環日本海環境協力推進事業」により、平成 16 年 12 月 20 日(月)から 22 日(水)に韓国ソウル特別市において開催された「第 13 回環日本海環境協力会議」(The 13th Northeast Asian Conference on Environmental Cooperation)に参加し、その結果をまとめたものである。

本会議は韓国環境部及びソウル特別市が主催し、韓国国会環境経済研究会(National Assembly Environment & Economy Forum)の協力により、中国、モンゴル、韓国、ロシア連邦及び日本の 5 カ国並びに国連アジア・太平洋経済社会委員会(UNESCAP)の参加の下に開催された。

会議は、初日のシンポジウム「都市部における大気環境管理政策」で幕を開け、各国の専門家及びカリフォルニア州大気資源委員会(ARB)から各国における取り組みが紹介された。パネルディスカッションでの意見交換により、持続的な経済発展と環境の保全を行っていくためには、成功例だけでなく失敗例も共有していくことが大切であると認識された。

引き続き本会議では、参加各国及び UNESCAP の代表者による基調講演の後、「種の回復」、「地方自治体における環境回復」、「工業団地における持続可能な管理」についてのセッションが開催され、活発な討議が行われた。

国、地方公共団体、NGO などのあらゆる主体が連携して環境問題に取り組むことが、今後ますます重要となり、地球規模での持続可能な社会の実現へとつながっていく。その意味においても、北東アジア地域の環境協力を推進する環日本海環境協力会議の果すべき役割は、ますます大きくなってきている。

平成 17 年 3 月

財団法人 環日本海環境協力センター
理事長 平野 敏行